

計画の全ての事業（265事業）毎に毎年、事業所管課が作成し、自己評価する。なお、指標関係事業（60事業）については、外部評価時に資料1-3に個票として添付する。

資料1-5

第5次千葉県男女共同参画計画

様式(事業評価シート)

【記載例】

事業名	県が設置する審議会等への女性登用促進		担当課	総合企画部男女共同参画課
基本目標	基本目標 I あらゆる分野で男女がともに活躍できる環境づくり	基本的な課題	基本的な課題3 政策・方針決定過程における男女共同参画の促進	
施策の方向	施策の方向① 政策・方針決定過程における男女共同参画の促進	重点的取組	該当	
施策	施策1 県が設置する審議会等への女性登用促進	関係指標	県の審議会等における女性委員割合	
年度	令和3年度			
予算額(千円)	0		各課が自己評価を実施するために、計画の全ての事業(265事業)毎に作成します。基本目標、基本的な課題(9項目)、施策の方向、重点的取組、施策、関係指標(60事業が該当)、予算、決算額等を記載します。	
決算額(千円)	0			

事業の概要・目的	<p>事業の概要と目的を記載します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 政策決定過程において、男女が共同して参画する機会が確保されることが、男女共同参画社会の基盤を成すものであることを踏まえ、県における審議会等における女性登用率の向上を目指す。 県の附属機関の委員の改選に当たっては、担当課と事前協議を実施し、女性の登用を働きかける。
主な実施事項と成果及び指標への貢献 <small>(及び予期せぬ外的要因があった際にはその対応事項、指標への影響※)</small>	<p>評価対象年度における1年間の主な実施事項と成果及び指標への貢献を記載します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 県の審議会委員選考の事前協議において、県内外の各分野で活躍している女性に関する情報を収集した「千葉県女性人材リスト」の積極的な活用を庁内に働きかけることにより、51件の登録者情報の提供を行いました。その結果、〇件の審議会において〇人の女性委員の増加につながり、指標「県の審議会における女性委員割合」を0.2%押し上げる結果につながりました。
取組推進に当たっての問題点や問題点を踏まえた課題等 <small>(及び予期せぬ外的要因があった際にはその対応に当たっての問題点を踏まえた課題等※)</small>	<p>取組を推進するに当たっての問題点等や問題点等から必要となる課題を掘り起こして記載します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性委員の割合が増加しない要因として、特定分野における女性人材が少ないことに加え、審議会等改選時における担当課との事前協議時間を、十分に確保できなかったことなどが考えられます。また、千葉県女性人材リストの登録者情報の提供数が少なかったことに伴い、リストの提供が委員の就任にまで結びつかず、県の審議会等における女性委員の割合の増加に十分寄与できなかったと考えられます。
課題を踏まえた具体的な取組 <small>(及び予期せぬ外的要因があった際にはその対応に当たっての課題を踏まえた具体的な取組※)</small>	<p>次年度以降の改善に向けて、課題解決のために継続的に実施する取組をはじめ、課題を踏まえて強化する取組や新たな取組を記載します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 県の審議会等の委員のうち、女性人材が少ない分野について、市町村や各種団体及び庁内各課等へ女性人材の情報提供を依頼するなど、女性人材リストのより一層の情報充実を図ります。また、同リストの分野ごとの検索機能を改善し使いやすさの向上を図るとともに、審議会委員等改選の事前協議において庁内各課との調整に十分な時間をとりながら、審議会担当職員の男女共同参画の意識醸成を図るほか、女性委員の割合が40%に達成するために必要な女性登用数を具体的に示した上で、千葉県女性人材リストだけでなく内閣府の女性人材リストの活用も促すなど、庁内各課に対し積極的な働きかけを行います。

※) 新型コロナウイルス感染症や震災等の予期せぬ外的要因により、通常の事業実施が難しかった場合は、その対応事項・指標への影響・対応に当たっての問題点を踏まえた課題等・課題を踏まえた具体的な取組も記載する。
注) 「関係指標」及び「指標への貢献」については、指標に紐づいた関係事業のみが記載する。